

災害時避難所運営を疑似体験！

牧之原市災害ボランティアコーディネーターと菅山区の合同で避難所運営訓練を開催しました。災害時には様々な問題を抱えた方たちが避難所へ避難をしてきます。そのような方たちをどのように受け入れれば最適なのかを、参加者の方の立場になりきって考えました。災害時、スムーズに避難所運営をするためには、日頃からの訓練が大切だと感じました。



ご寄付

善意のご寄付をいただき
ありがとうございました。
(28. 10. 26現在)

- 更生保護女性部 様 1,908円
- 榛原更生保護女性会 様 1,000円
- 大江婦人部 様 25,336円
- 中里公民館 様 22,395円
- 牧之原市赤十字奉仕団榛原分団 様 44,270円
- はづき会 様 素麺他6点
- 匿名 様 調味料他9点
- 森茂 様 990円



お知らせ

のびのび子育て井戸端会議のお知らせ

- 【日 時】12月19日（月）10：00～11：30
【会 場】総合健康福祉センターさざんか
【内 容】クリスマス
【問合せ・申込み】相良事務所（☎52-3500）



昨年度の様子

はなちゃん募金ありがとう

岩倉はなちゃんの心臓移植のための必要金額が集まったことをご報告させていただきます。ご協力いただきました皆様に、心より感謝申し上げますとともに、はなちゃんが、一日も早く元気な姿を見せてくれますように願っております。



法律相談（弁護士・行政相談員・人権擁護委員）

- 【会 場】市民相談センター（☎23-0088）
【期 日】12月7日(水)、21日(水)
【時 間】10:00～15:00
※受付は当日8:30～（先着8名）となります。
(電話予約のみ)



心配ごと相談（民生委員・司法書士）

- 【会 場】市民相談センター（☎23-0088）
【期 日】12月14日(水)
【時 間】9:00～11:30



福祉総合相談・ボランティア相談

- 【期 日】毎週月～金曜日
【時 間】8:15～17:00
【問合せ】相良事務所（☎52-3500）



生活困窮者相談窓口

- 【会 場】相良事務所
【期 日】毎週月～金曜日
【時 間】8:15～17:00
経済的な困りごとを抱えた方の生活の立て直しをはかるための相談窓口です。



障がい者の生活相談

- 【期 日】毎週月～金曜日
【時 間】8:15～17:00
【問合せ】生活支援センターつばさ（☎53-2610）



在宅介護（介護機器）相談

- 【問合せ】
地域包括支援センターさがら（☎53-1900（相良地区））
地域包括支援センターオリーブ（☎22-8822（榛原地区））
※お電話は24時間受け付けます。



社会福祉法人 牧之原市社会福祉協議会（略称「社協」）

ふくしだより

第 133 号

平成28年11月発行

ふくしだよりはみなさまからいただいた会費と赤い羽根共同募金で発行しています（再生紙） [最新情報更新中](#)

静岡県健康福祉大会

10月7日（金）に静岡市民文化会館を会場に、平成28年度静岡県健康福祉大会が開催されました。当日は、長年の社会福祉活動への功労表彰が行われ、市内からは4名 1団体の方が受賞されました。静岡県では1月1日から数えて294日目（フクシ）にあたる10月20日を「県民福祉の日」として制定しています。

静岡県社会福祉協議会会長表彰受賞者

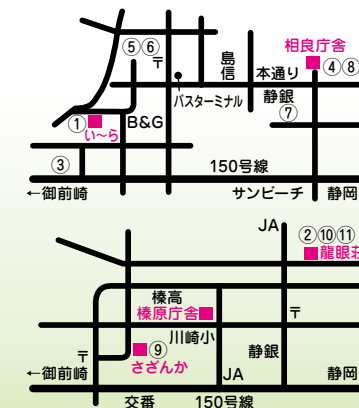
- 受賞者 渡邊 賢治 様 田中 敬之 様（法人役員・事業所従事者）
受賞者 村松 秀代 様 オムレツくらぶ 様（社会福祉事業協力者）
受賞者 原崎ゆり子 様（市町社協団体役員・従事者） ※当日は都合により欠席



① 相良事務所

〒421-0524 牧之原市須々木140番地
（牧之原市相良総合センターい〜ら内）
☎0548-52-3500 FAX0548-52-5585
E-mail:houjin@makinohara-shakyo.jp

- ③ 相良デイサービスセンター …… ☎ 52-5553
④ 地域包括支援センターさがら … ☎ 53-1900
⑤ 相良ホームヘルプサービス事業所 ☎ 53-2212
⑥ 相良居宅介護支援事業所 …… ☎ 87-2327
⑦ 生きがいデイあしたか …… ☎ 52-5768
⑧ 生活支援センターつばさ …… ☎ 53-2610



② 榛原事務所

〒421-0422 牧之原市静波172番地1
（牧之原市老人福祉センター龍眼荘内）
☎0548-22-5187 FAX0548-24-1166

- ⑨ デイサービスセンターうたり … ☎ 22-4419
⑩ 榛原ホームヘルプサービス事業所 ☎ 24-1165
⑪ 榛原居宅介護支援事業所 …… ☎ 22-6520

ホームページ
<http://www.makinohara-shakyo.jp>

みんなの描くふくし作品コンクール受賞作品

絵画 図画の部 応募総数:13作品



最優秀賞

「夏休みに弟とひいおばあちゃんちに行ったよ」
勝間田小学校 2年 清水 小春

優秀賞

「体のふじゆうな人の
おてつだいをしよう」
地頭方小学校 3年 大窪 啓生



優秀賞

「まごころコンサート(いもんに行ったときのこと)」
相良小学校 4年 中村 秀美



絵画 ポスターの部 応募総数:63作品



最優秀賞 「赤ずきんちゃんのような優しさ」
細江小学校 6年 藤田 悠花

優秀賞

「赤い糸は心のつながり」
坂部小学校 5年 板倉 未奈



優秀賞

「やさしい心育てよう」
相良小学校 6年 本多 飛童



作文の部 応募総数:49作品

低学年の部 最優秀賞

「おばあちゃんとの思い出」

坂部小学校 3年 松本 早矢



車いすに乗っている人を見ると、思い出することがあります。それは、さがらのおばあちゃんのことです。おばあちゃんは、体が弱くて、人工とうせきということをやっていました。体調をくずすことが多く、入いんをすることが多かったです。

わたしは、おばあちゃんのお見まいによく行きました。わたしがびょういんに行くと、ベットに横になっているおばあちゃんがおき上がり、にこにこしてむかえてくれました。

一人で歩くことができないので、車いすを使っていたおばあちゃん。わたしは、おばあちゃんがさん歩に行きたいときには、車いすをおしてあげました。車いすをおしていると、かならず、おばあちゃんは、「ありがと。元気になるよ。」と言ってくれました。そう言われて、とても、うれしかったです。

おばあちゃんに、べん強を教えてもらったり、お出かけにつれて行ってもらったりすることはなかったです。でも、おばあちゃんの手いすをおしてあげたとき、「ありがと。元気になるよ。」と言ってくれたこの言葉でわたしは、とても元気になりました。わたしこそ、おばあちゃんに何かしてあげようとするパワーや元気をもらっていました。

おばあちゃん、ありがと。おばあちゃんは、もう、天国に行ってしまいました。でも、おばあちゃんのことはいつまでもわすれられません。

高学年の部 最優秀賞

「いつも思うこと」

勝間田小学校 6年 中島 嘉成

「ここは、車いすの人が乗るところなのね。」と母が言った。から電車に乗って家に帰る時の事だ。夕方の混み始めの時刻だ乗ったことがある電車なら、優先席と書いてある場所が、いすとしていた。よく見たら、車いすと、ベビーカーのマークがあった。これだけ開いているスペースなら、車いすの人も乗りやすいのかなと。でも、あのホームから電車に乗るには、すきまがあいていロックもあるから、ぼこぼこがたいへんだな。と思なおしたり車いすの人が電車に乗ろうとしていたら、力をかけてあげれたらた。

そういえば、この車いすマークは、駐車場のあるところなら、に近いところによくある。便利な場所だけれど、元気なぼくの車することはできない。少し残念に思うけれど、立場が変わって、たくなった時、そこではなくてもよい人達が駐車していて使えなてもがっかりするだろう。だから今は遠りよしている。世の中のちみたいに気をつけているといいなと思った。

弱い人たちの力になるには少し工夫が必要だ。と知ったのは、で体験した認知症サポーター講座でのことだ。認知症の方が優しい気持ちで接することを教えていただいた。オレンジのリンら、兄にそのことを話していたら、兄が、「目が不自由な人が、えを体の前で持っていたら、『困っているから助けてください』っなんだって。」と教えてくれた。

ぼくはまだ、困っている人を助けたことはないけれど、そういら、なんとかしてあげたいと思う。優しい気持ちで支えてあげたでも、ぼくにできるかな。と少し心配もある。これからも少し覚えて、もしも困っている人がいる場合、助けてあげたい。

それは、静岡けど、今までもなく、広々た。これだけちょっと思っるし点字ブもした。もし、いいなと思っ

建物の入り口両親たちは駐そこに駐車しなかったら、と人達もぼくた

この前、学校困っていたら、グを見せなが両手で白いつていうことな

う場面がきたい。ずつ助け方を

高学年の部 最優秀賞

「人のやさしさ」

牧之原小学校 6年 田中 海帆

みなさんは街頭ぼ金に参加したことがありますか。

私の友達妹のはなちゃんは、うまれてすぐ拡張型心筋症という重い病気になってしまいました。この病気を治すためには、アメリカに行って心臓移植をしなければなりません。そのためは、三億というばく大なお金が必要だと聞きました。けれど、そんなに大きなお金をすぐに用意することはできません。だから友達のお父さんとお母さんはみんなに、「はなちゃんを助けてください。」と涙を流しながらお願いしていました。私は、はなちゃんがお母さんのお腹にいる時から知っています。生まれたら絶対あそびに行くねと、約束していました。けれどもはなちゃんは生まれて1ヶ月で病気になってしまい遊ぶことができなくなってしまいました。

はなちゃんのお父さんは私のお父さんとお母さんの所にも、ぼ金活動を手伝ってほしいと言ってきました。そこでお母さんが私に、「はなちゃんが困っているから一回はボランティアに参加してみようか。」と言いました。でも私は、ぼ金活動なんてやったことがないし、その日はすごく暑い日で外でずっと立っているのは大変そうだったのでどうしようかなと思いました。そこでお母さんが、「困っている人がいたら助けてあげようね。」と言いました。私は本当はいやだったけれど「うん。」と答えました。

街頭ぼ金の日です。その日はやっぱりとても暑くてとても二時間も立ってられないなと思いました。けれどもお母さんや他のボランティアの人を見たら、大きな声を出してあせをいっぱいかきながら全くしらない人にぼ金に協力してくださいと頭をいっばいさげていました。それを見てモジモジしていたのは私だけかなと思いました。

それから何回かぼ金活動をやりました。お金を入れてくれた人から、「早くあつまるといいね。」とか、「がんばって下さいね。」とたくさんの方がはげましてくれました。みずしらずの人なのに、ぼ金に協力してくれて、なお私までほめてくれて私はすごくうれしかったです。

たくさんのはげましの声で最初は小さな声しか出せずにモジモジしていたけれど、自然に声が大きくなり、「ありがとうございます。」と頭を下げられるようになりました。

このぼ金活動を通して私が一番感じたことはみんな助け合って生きているんだなと思いました。こまっている人がいたら見て見ぬふりをせず助けてあげられるやさしい心をみんながもてればいいと思います。

はなちゃんの心臓いしょくが一日でも早くできるように、これからも協力していこうと思います。

はなちゃん早く元気になって一緒に遊ぼうね。